

Ⅱ. 「PROMISE 金融経済教育セミナー」

分析結果

(1) 定量分析の概要

8-1. 定量調査の実施概要

2021年度社会的インパクト評価におけるアンケート調査は、2021年9月から2022年2月に実施し、受講群11校、未受講群3校を対象とした。各群の人数は以下の通りである。

なお、同一校での対照群の設定に制約があったため、類似条件による他の教育機関に所属する高校生を対照群（以下、未受講群とする）として設定している。

属性		回答数			
		受講群		未受講群	
大分類	小分類	事前	事後	事前	事後
学校属性	一般校	550	519	480	456
	進学校	518	485	349	323
	専門学科	236	201	0	0
	定時制等	218	173	0	0
学年	3年	782	684	349	323
	2年	128	104	0	0
	1年	612	590	480	456
性別	男性	753	654	498	449
	女性	707	659	286	275
	その他	62	65	45	55
受講プログラム	生活設計・家計管理	508	451	—	—
	ローン・クレジット	568	529	—	—
	金融トラブル	446	398	—	—
属性ごとの合計		1522	1378	829	779

8-2. 質問票の構成

領域	質問数	質問概要	参考
客観的 金融リテラシー	24問	金融リテラシー・マップ4分野、正誤問題 例「生活費の収入・支出に関する次の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか」	金融リテラシー 調査 2019年 (金融広報中央委 員会)
主観的 金融リテラシー	1問	金融リテラシーのレベルに対する自己評価、5段階評価 例「あなたの金融全般に関する知識は、他の人と比べて、どのようなレベルにあると感じていますか」	
行動特性・考え方	16問	8項目（収支の把握・計画性・慎重性・消費傾向・横並びバイアス・損失回避行動・消費に関する自己評価・支払の認識）に対する自己評価、2択もしくは5段階評価 例「何かを買う前に、それを買う余裕があるかどうか注意深く考える」	
金融知識	2問	金融の時流問題に関する自己評価、4段階評価など 例「成年年齢が引き下げられることをご存じですか」	
自己効力感	16問	一般性セルフ・エフィカシー尺度、2択 例「何か仕事をするときは、自信を持ってやるほうである」	一般性セルフ・ エフィカシー 尺度 (GSES)
属性	7問	①金融トラブルの経験・金融経済教育の経験 (3問) ②個人属性：性別・学年 (2問) ③支払方法に関する状況 (2問)	

9. 2021年度社会的インパクト評価のスコープ

2021年度社会的インパクト評価においては、初期アウトカムである「金融リテラシーの向上」・「リスク行動の認識」・「金融における自己効力感」を評価対象としているが、特にスコープとするのは、PROMISE 金融経済教育セミナーのプログラム・コンテンツが対応する指標とした。

初期アウトカム	評価指標	スコープとなる指標
金融リテラシーの向上	主観的金融リテラシー	プログラム・コンテンツと対応する金融リテラシー・マップ
	客観的金融リテラシー (金融リテラシー・マップ)	
リスク行動の認識	行動特性・考え方	プログラム・コンテンツと対応する行動特性・考え方
金融における自己効力感の向上	一般性セルフ・エフィカシー尺度 (GSES) の向上	

10. プログラム・コンテンツとの対応

PROMISE 金融経済教育セミナーでは、主に「生活設計・家計管理プログラム」、「ローン・クレジットプログラム」、「金融トラブルプログラム」が高校生向けに実施されており、各プログラム・コンテンツと、本調査にてスコープとする、客観的金融リテラシー（金融リテラシー・マップ分野）及び行動特性・考え方との対応は、以下の通りである。

プログラム・コンテンツと金融リテラシー・マップ及び行動特性・考え方との対応

#	分類	小分類	生活設計・ 家計管理	ローン・ クレジット	金融トラブル	対象設問
1	客観的金融リテラシー	家計管理	○			Q3,4
2	客観的金融リテラシー	生活設計	○			Q9,10
3	客観的金融リテラシー	金融知識 金融取引の基本		○	○	Q11,12,13
4	客観的金融リテラシー	金融知識 金融・経済の基礎			○	Q15,16,17,18-1,19,20
5	客観的金融リテラシー	金融知識 ローン・クレジット		○		Q18-2,25
6	客観的金融リテラシー	金融知識 保険				Q21,22,24
7	客観的金融リテラシー	金融知識 資産形成				Q18-3,18-4,26
8	客観的金融リテラシー	外部知見の活用			○	Q27,28,29
9	行動特性・考え方	収支把握	○	○		Q2
10	行動特性・考え方	費用認識・資金計画	○			Q6,7,8
11	行動特性・考え方	計画性	○	○	○	Q1-4,1-6
12	行動特性・考え方	慎重性		○	○	Q1-1,1-7
13	行動特性・考え方	消費傾向				Q1-5,1-9,1-10
14	行動特性・考え方	横並びバイアス				Q1-3
15	行動特性・考え方	損失回避行動				Q5
16	行動特性・考え方	消費に関する自己評価				Q1-8
17	行動特性・考え方	支払の認識		○		Q1-2
18	行動特性・考え方	外部知見の活用				Q37